

概要説明書

評価・提案テーマ	定住促進対策	担当局・部名	市民・厚生部			
		担当課・係名	福祉課子育て支援担当			
協議内容	子育て世帯への定住対策	役職	主査			
		作成者	久保田 宏美			
政策実施の背景	少子化に並行して、核家族化も進み子育て世帯の負担感が増している実情を踏まえ、子育てに係る費用等の支援を行い、また安心して働きに行ける、保護者が住みやすい環境づくりに取り組んでいくため					
目的 (何をどうしたいのか)	共働きなどで保育が必要なお子さんだけでなく、家庭での子育てを中心にされている方への支援として、親子で交流したり子育ての相談などができる地域の拠点整備の充実を図るとともに、た子育てで家庭と一般家庭との育児の相互援助も促進し、子育て世帯の環境整備を充実させる。					
市取組例	取組事業名	①ファミリーサポートセンター事業 ②子育てふれあいサロン ③子育て支援センター ④放課後児童クラブ（学童保育）				
	取組内容	<p>【①ファミリーサポートセンター事業】 「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員数）」と「子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）」が事業に登録し、互いに助け合いながら育児の援助活動を会員間で行う。</p> <p>【②子育てふれあいサロン】 親子一緒に参加し、子育てを楽しみながら友達・仲間づくりができるサロンや、子どもを預け、その間親はリフレッシュを図るサロンを開設。</p> <p>【③子育て支援センター】 地域における子育て支援サービスの一環として幼稚園・保育所でセンターを開設し入園前の親と子どもが活動できる施設（場）の提供することで、家庭内で子育てをしている親子の孤立化を防ぎ、親の就労状況に関わりなく、全ての子育て家庭を対象とした支援の充実を図る。 育児不安についての相談指導、子育てサークル等の育成・支援、子育て親子の交流の場の提供・交流促進、地域保育資源の情報提供等子育て支援を実施。</p> <p>【④放課後児童クラブ（学童保育）】 保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学校児童を対象に、適切な遊びや生活の場を与え、集団生活の中で豊かな心身を養い、児童を健やかに育成することを目的に市内すべての学区に放課後児童クラブを設置している。地域の保護者が運営。</p>				
	取組における課題	ファミリー・サポート・センター事業 は、H25年度開始でまだ認知度が低いため、チラシの配付や広報等で周知を図る。				
コスト		26年度（予算）	25年度（決算）	24年度（決算）	23年度（決算）	
	事業費合計	91,184千円	62,988千円	53,787千円	45,778千円	
事業費	主な事業費内訳 (平成25年度分)	①ファミリーサポートセンター事業	社会福祉協議会へ委託	5171千円		
		②子育てふれあいサロン	社会福祉協議会で実施	163千円		
		③子育て支援センター	4園に補助金	25,540千円		
		④放課後児童クラブ（学童保育）	11クラブに補助金	32,461千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度
		ファミリーサポートセンター登録者数 (上：依頼会員数、中：提供会員数、下：両方会員数)	人	143 33 11	101 21 10	
		子育てふれあいサロン利用者数	人	354	323	
		子育て支援センター利用者数	人	9,809	12,511	13,885
		放課後児童クラブ（学童保育）年間登録者数 (8学区11クラブ)	人	411	421	394
特記事項	都留市待機児童数：0人					